お客様メモ… 後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるときお役に立ちます。

ご購入年月日	平成　　年　　月　　日
購入店名	電話（　　－　　）

愛情点検

長年ご使用の石油ファンヒーターの点検を!

●石油ファンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後６年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか?	●ときどき点火しないことがある。 ●点火する時、白煙が出るようになった。 ●強燃焼でも暖まらなくなった。 ●その他の異常・故障がある。	▶	お願い	故障や事故防止のため、スイッチを切りコンセントから電源プラグを抜き販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

株式会社　日立ホームテック　　株式会社　日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2丁目15番12号　電話 (03)3502-2111

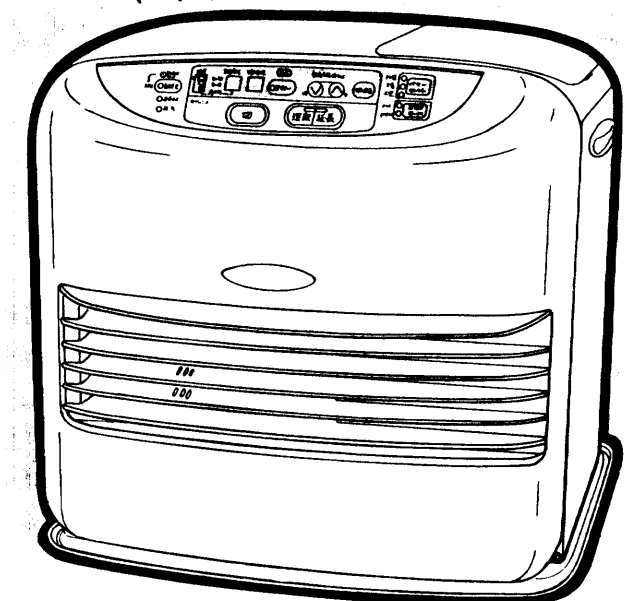
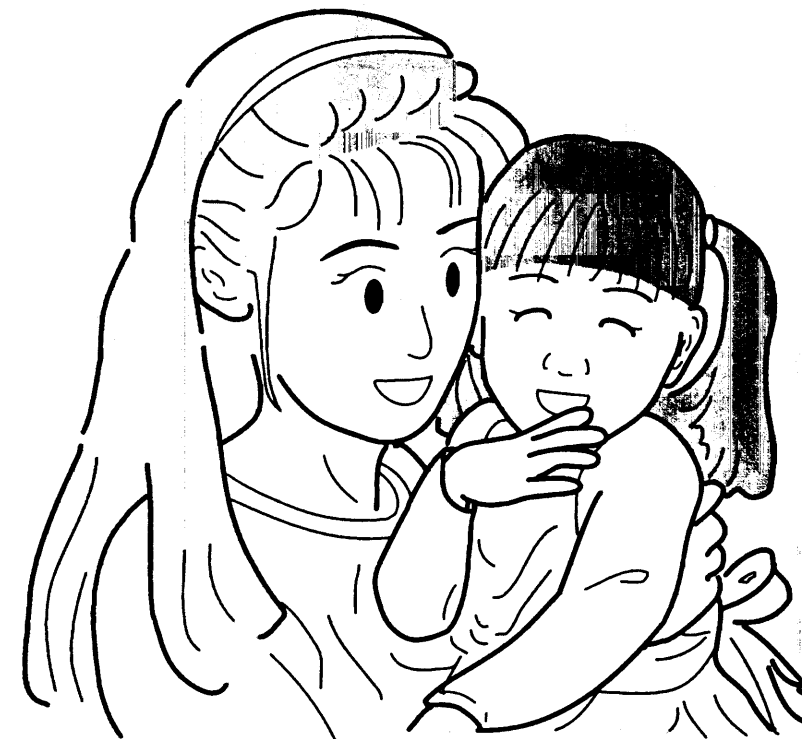
NH315487-01 9804(M)

取扱説明書

HITACHI

日立 石油 ファンヒーター　OVF-SE50D形

〈強制通気形開放式石油ストーブ〉

このたびは、日立石油ファンヒーターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用の際はこの取扱説明書をよくお読みになり、ご家族全員で正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは保証書、ご相談窓口一覧表とともに、大切に保存してください。
同梱のご愛用者カードは必ずご投かんください。

すばやく暖める
速暖ターボ

寒〜い朝などは、暖房熱量を〈強〉燃焼の約1.3倍にパワーアップ。
冷えきったお部屋をすばやく暖めます。

●タイマー運転中、給油バックアップ運転中、おさえめ運転復帰後の運転中、パワーセレクト運転により小さいお部屋を選択中、微燃焼運転選択中には、速暖ターボ運転はしません。

目　次

ページ

安全のため必ずお守りください

絵表示について　安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書および製品への表示では、ご使用になる方への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のように区分して表示しています。その内容をよく理解してからご使用ください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、又は火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、又は火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や、*物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示しています。

絵表示の意味

この絵表示は「禁止」事項を示しています。

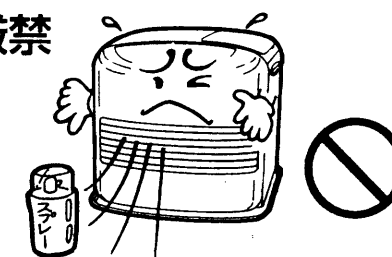
この絵表示は必ず実行していただく「強制」内容です。

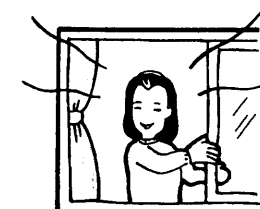
⚠危険

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。
●火災の原因になります。

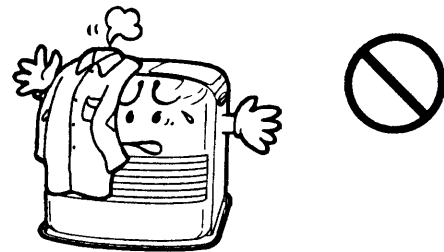
⚠警告

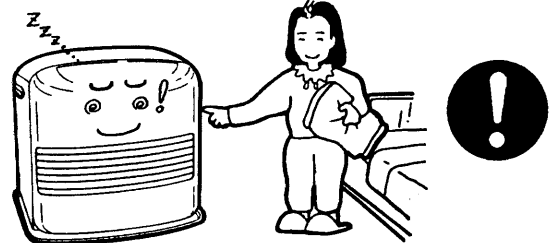
スプレー缶厳禁

スプレー缶を温風があたるところに放置しないでください。
●熱でスプレー缶の圧力が上がり、爆発し危険です。

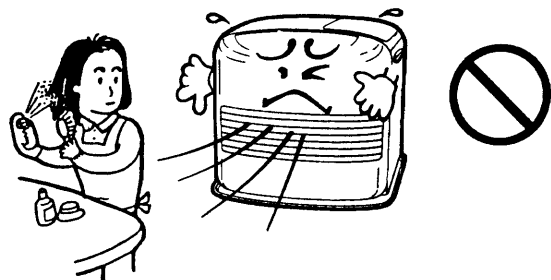
換気必要

換気せずに使用しつづけないでください。
●酸素が不足すると、不完全燃焼し一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。
使用中は必ず1時間に1〜2回(1〜2分)換気して、新鮮な空気を補給してください。
換気が十分に行えない場所（窓が凍結している部屋、地下室など）では、使用しないでください。

安全のため必ずお守りください

⚠警告

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や空気取入口をふさがないでください。
●衣類、紙などでふさぐと、異常燃焼や火災の原因になります。

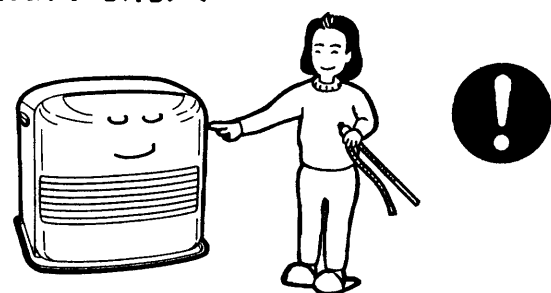
寝るとき消火

寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
温風吹出口前方に布団を敷いたり、物を置かないでください。
●火災など予想しない事故の発生するおそれがあります。

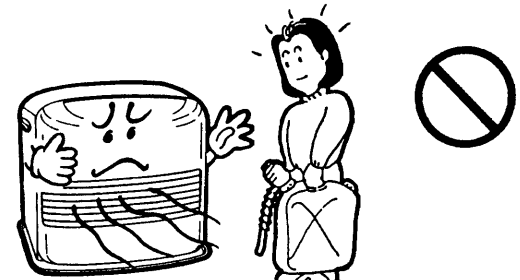
可燃性ガス使用厳禁

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーなどを使用しないでください。
●火災や故障の原因になります。

⚠注意

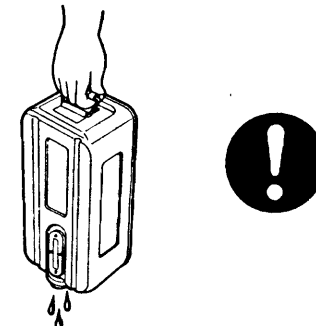
カーテン・可燃物近接禁止

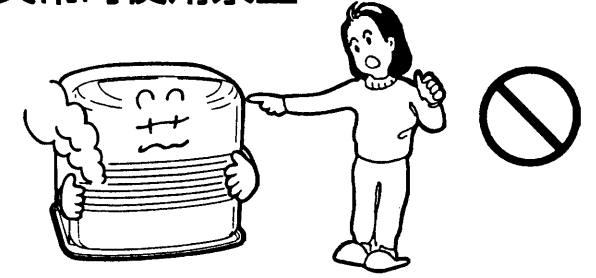
カーテン・障子などの燃えやすいもののそばでは使用しないでください。
●火災が発生するおそれがあります。

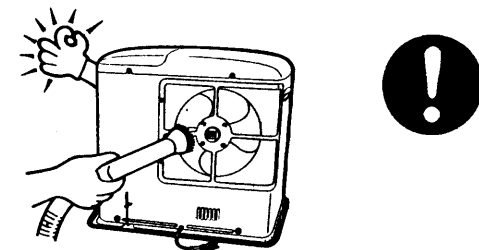
給油時消火

給油は必ず消火してから行ってください。
●火災のおそれがあります。
こぼれた灯油は、よく拭き取ってください。

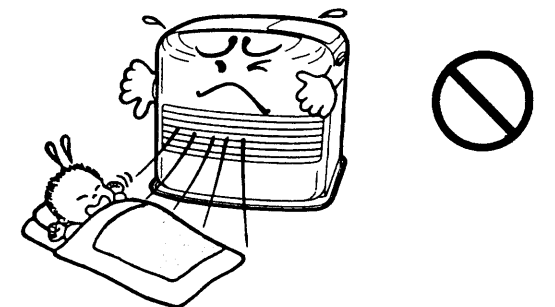
居室内給油禁止

給油は、必ず火の気のないところで行ってください。
●火災のおそれがあります。

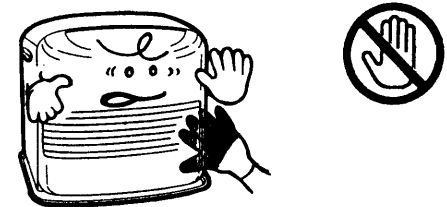
⚠注意

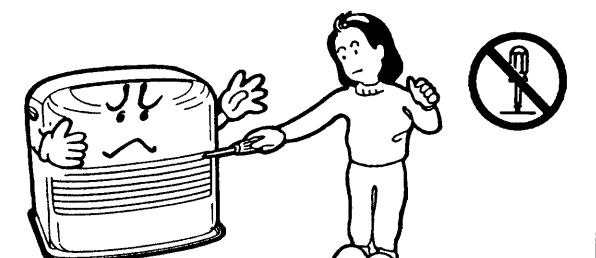
油漏れ確認

給油口口金は確実にしめてください。
給油口口金を下にして、油漏れがないことを確かめてください。
●口金を斜めに締めたりすると、簡単に口金がはずれて、火災のおそれがあります。

異常時使用禁止

におい・すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
●異常燃焼のおそれがあります。
使用中に異常を感じたり、地震などの緊急の場合は、あわてずに消火してください。

ほこりの除去

フィルタは、週1回以上必ず掃除してください。
●ごみ・ほこりなどでフィルタがつまると、異常燃焼のおそれがあります。

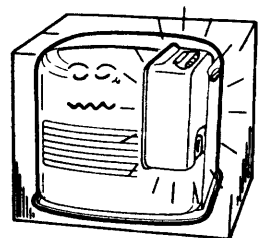
温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。
●低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。
お子様や体の不自由な方を、温風が直接あたる場所に寝かせないでください。

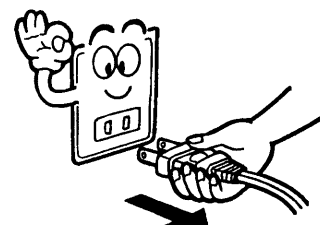
高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部（温風吹出口）に手などふれないでください。
●やけどのおそれがあります。

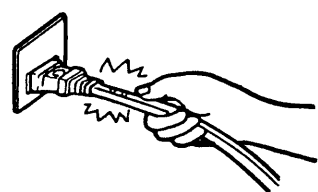
分解修理・改造の禁止

不完全な修理や改造は危険です。
故障、破損したときは使用しないでください。
●火災など予想しない事故の発生するおそれがあります。

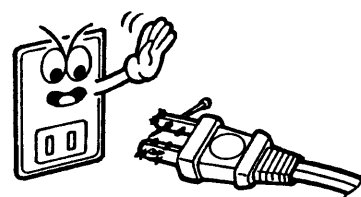
安全のため必ずお守りください

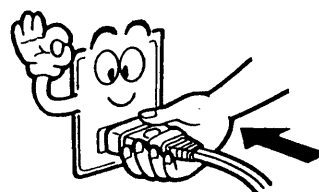
⚠注意

保管時にしていただくこと

長期間使用しないとき、または保管するときは、必ず灯油を抜いてください。
傾けたり、横倒しの状態では保管しないでください。
●火災のおそれがあります。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
●火災や予想しない事故の原因になります。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物を載せたりしないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
●火災や感電の原因になります。

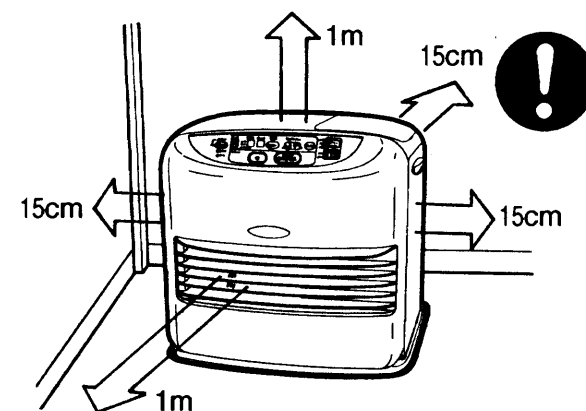
電源プラグのお手入れを

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物などを除去してください。
●ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

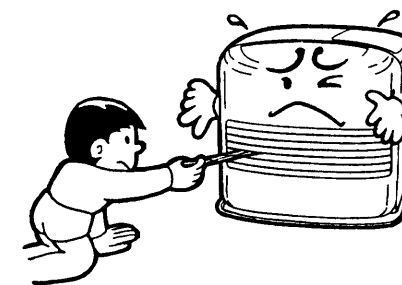
電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
●火災の原因になります。

次の場所では使用しない

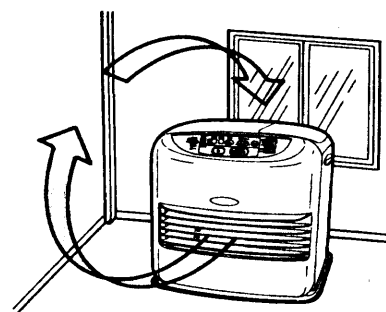
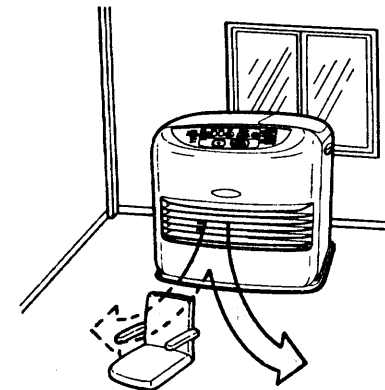
○風のあたる場所、部屋の出入口。
○不安定な物をのせた棚などの下。
○温室、飼育室など人のいない場所。
○可燃性ガスの発生する場所、又はたまる場所。
○水平でない場所、振動の激しい不安定な場所。
○ほこりや湿気の多い場所。
○直射日光の当たる場所。
○理・美容院、クリーニング店、塗装工場など、スプレーや化学薬品を使う場所。
○暖炉や押し入れなどストーブが囲われる場所。
●火災や予想しない事故の原因になります。

⚠注意

可燃物との距離を離す

図に示す寸法内に可燃物や障害物を置かないでください。周囲に余裕を持たせて設置してください。
●異常燃焼や火災の原因になります。

温風吹出口に異物を入れない

温風吹出口や本体の内部に紙、布、プラスチック、ガスライター、マッチなどの異物を入れないでください。
●火災の原因になります。

使用する場所

効果的に使用するために外気に接する窓の下や壁面の近くに設置してください。

温風の循環を妨げないでください。

この機器は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。
●著しく機器の寿命を縮めます。

○揮発性シリコンを配合した枝毛用コート液や、ヘアートリートメント（枝毛用）は、点火ミスや途中消火の原因となるので、使用しないでください。
○熱に弱いじゅうたんや床の上で長時間使用すると、変色したり、そり返ることがあります。
熱に強いポリエステル系のマットなどを敷いてください。
○ストーブに腰をかけたり、物をのせないでください。
○移動するときは、引きずらないでください。床面、じゅうたん、カーペット等を傷つけたり、本体底面の塗装がはがれて、さびるおそれがあります。
○高地（標高1,000m以上）で使用する場合は、空気が薄いので特に燃焼状態の確認と換気に注意してください。

各部のなまえ

□内の数字は詳しい説明のあるページです。

外観図

操作部・表示部のなまえとはたらき

急速点火ボタン 20
- ●点火時間を早めたいとき押しておきます
- ●チャイルドロックをセット(解除)するとき押します

チャイルドロックランプ 20
点灯…チャイルドロックがセットしています

油量ランプ
満量の給油タンクをセットしたとき、残油量の目安を3段階に表示します

表示	油量	油量	油量
残油量	満量〜約1/2	約1/2〜1/4	約1/4〜空

残時間ランプ 12
点滅…油切れです
自動消火するまでの残り時間をデジタル表示します

デジタル表示(□□は例示です)

①設定室温と現在室温	20 18
②現在時刻	午後 1:30
③タイマー時刻	午前 6:00
④クリーニング	C 30
⑤安全装置作動	3
⑥機器故障	E 01

消臭ランプ 16
点灯…消臭システムが作動中です

室温/時刻合わせボタン 18・22
室温のセット、または現在時刻、タイマー運転の時刻をセットするとき押します

時刻設定ボタン 22
現在時刻をセット(修正)するとき押します

畳数ランプ 20
パワーセレクトボタンで選んだ畳数(お部屋の広さ)を表示します

急速点火ランプ 20
点灯…急速点火がセットしています

速暖ターボランプ 15
点灯…速暖ターボ運転中です

パワーセレクトボタン 20
お部屋の広さに合った暖房能力に切替えたいとき押します

省エネモードボタン 18
省エネモード運転に切り替えたいとき押します

油量　設定室温　現在室温　満　午前　午後　残時間　消臭　室温/時刻合わせ　チャイルドロック　3秒押し　急速点火　速暖ターボ　換気　クリーニング　切　タイマー　時　分　時刻設定　13畳　8畳　6畳　パワーセレクト　ゆらぎ　微燃焼　省エネモード　運転　延長

換気ランプ
点滅…換気してください
点灯し、運転ランプが消灯…不完全燃焼防止装置が作動して消火しました

クリーニングスイッチ 26
気化器をクリーニングするとき押します

切ボタン 16
- ●消火するとき押します
- ●おさえめ運転をセットするとき押します 19

タイマーランプ 22
点灯…タイマーが作動中かタイマー運転中です
点滅…●タイマー運転時刻合わせ中
●タイマー運転後自動消火しました
●3時間運転後自動消火しました 16

タイマーボタン 22
朝など自動的に運転させたいとき押します

運転ボタン 16
運転(点火)するとき押します

運転ランプ 16
点灯…運転中です

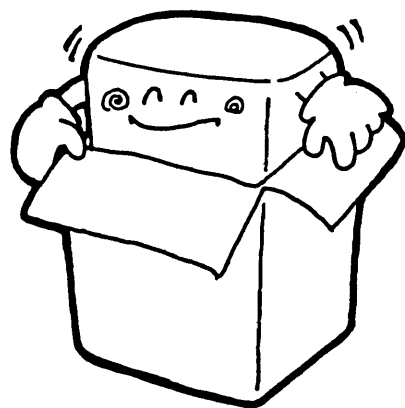
延長ボタン 17
- ●運転を延長するとき押します
- ●メロディ音とブザー音を切り替えるとき押します 13

微燃焼ランプ 18
点灯…微燃焼運転がセットしています

ゆらぎランプ 18
点灯…ゆらぎ運転がセットしています

使用前の準備

本体を取り出し、給油タンクを引き出す

同梱されているチラシ類もよくお読みください。

燃料

燃料は灯油（JIS１号灯油）を必ず使用してください。

変質灯油、汚れた灯油、水のまじった灯油などは、絶対に使用しないでください。

●ガソリン、シンナーなど、揮発性の高いものを使用すると、火災の原因になります。

灯油とガソリンの見分けかた

指先につけて息を吹きかけます。

●火の気のない場所でおこなってください。

灯　油

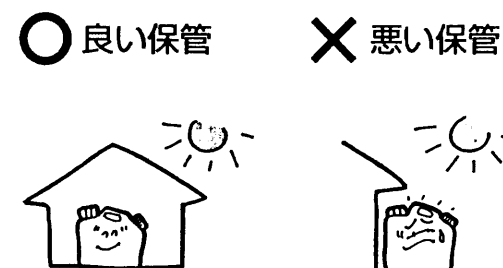
ぬれたまま

ガソリン

すぐに乾く

灯油の保管のしかた

灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温および直射日光を避けた場所に保管してください。

直射日光が灯油を変質させるため、光のとおりにくい着色したポリタンク（灯油用）を使用してください。

変質灯油・不純灯油とは

変質灯油

●昨シーズンより持ち越したもの
●日光のあたる場所で保管したもの
●高温の場所で保管したもの
●容器のふたをあけて保管したもの
●乳白色のポリ容器で保管したもの

ひどく変質した灯油は、黄色味がかったり、すっぱいにおいがします。

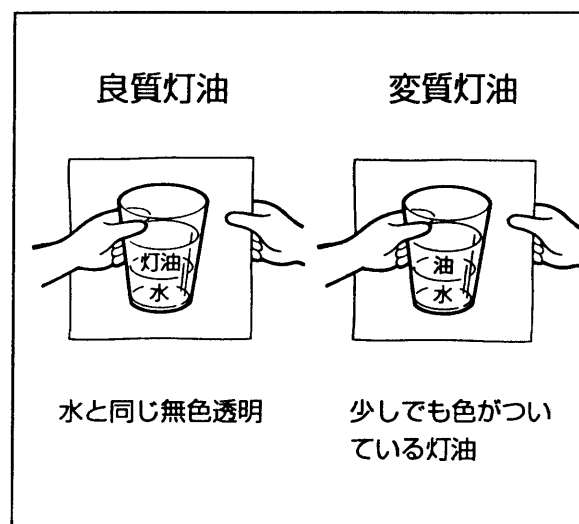
不純灯油

●灯油以外の油（ガソリン・軽油・食用油など）がほんの少しでも混入したもの
●水やごみが混入したもの
●灯油添加剤、燃焼促進剤などを添加したもの

変質灯油の見分けかた

コップに水を入れ、その上に灯油を入れて、背後に白紙をあてます。

水と同じ無色透明

少しでも色がついている灯油

変質灯油・不純灯油を使用すると

気化器にタールがたまり、つぎの原因になります。

●点火しない
●点火しないで白煙が出る
●使用中に消火する
●においがひどい

変質灯油・不純灯油を使用したとき

●給油タンク、油受け皿の悪い灯油を抜きとり（25ページ参照）、良質の灯油で内部を2～3回洗ってください。

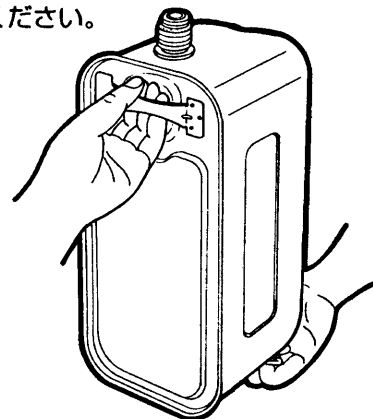
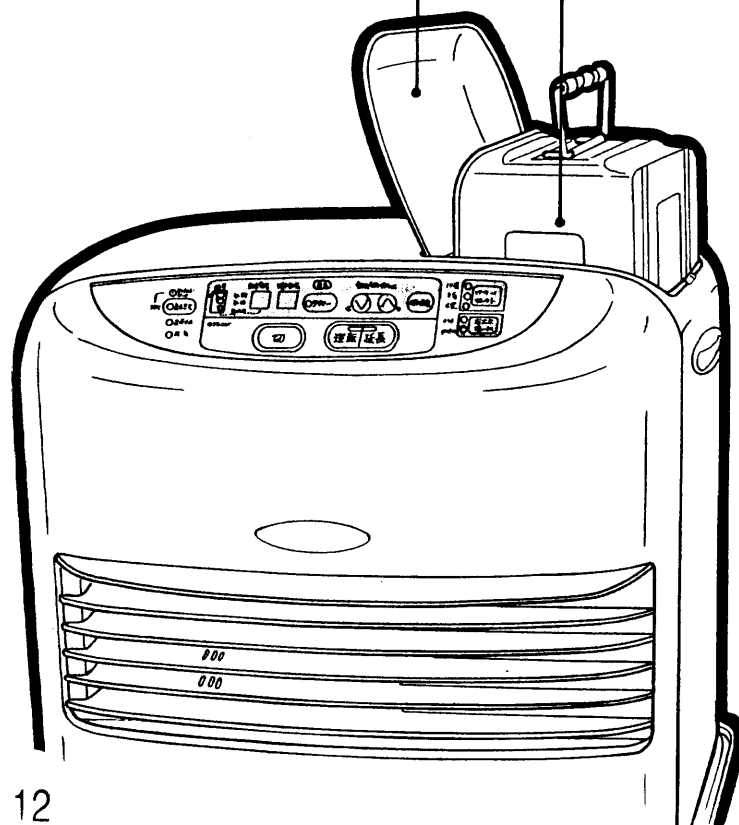
●それでも効果がないときは、気化器のクリーニングをおこなってください。
（26ページ参照）

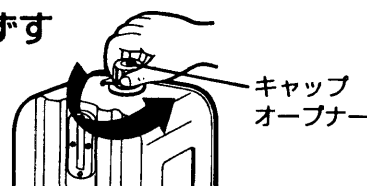
●サービスを依頼するときはお買い上げの販売店にご相談ください。

変質灯油、不純灯油が原因でサービスを依頼されたときは、保証期間中でも有料となります。

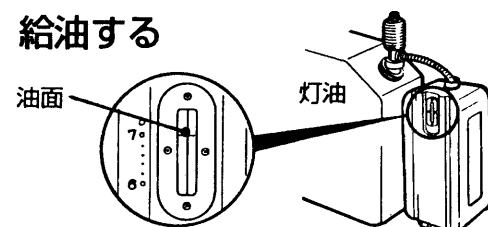
使用前の準備

給油は必ず消火してからおこなってください。

給油タンクの持ち運びには、上下2つあるとってを利用してください。

給油には付属のキャップオープナーをご利用ください。給油口口金にはめ合わせて開閉すると、手を汚さずに給油できます。

給油のしかた

1 給油タンクを取り出し、給油口口金をはずす

付属のキャップオープナーを給油口口金にはめ合わせると、手を汚さずに口金の開閉ができます。

●給油口口金には、ゴミ、糸くず、ホコリなど付着しないようにご注意ください。

2 給油する

油量計の目盛に油面がくるまで、市販のポンプで給油する。

●こぼれた灯油はよくふきとってください。

3 給油口口金を確実に締める

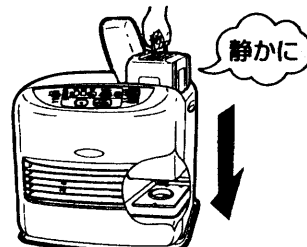
給油口口金

口金を下にして、油漏れがないことを確認してください。

●他のストーブの給油口口金を使用しないでください。

●必ずキャップオープナーを取り外してから、本体へセットしてください。

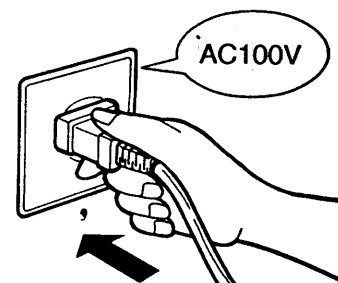
4 給油タンクをセットする

静かに

初めての使用やシーズン最初、油切れで消火したときなど、残時間ランプが点滅しているうちは、運転ボタンを押しても点火しません。

残時間ランプが消灯(約3分)してから点火してください。

運転開始前の準備と確認

電源の接続

電源プラグをコンセントに確実に差し込む。

200Vのコンセントには絶対に差し込まないでください。機器が故障します。

ぬれた手で電源プラグにさわらないでください。感電のおそれがあります。

周囲の確認

周囲に可燃物や障害物がないかもう一度確かめる。

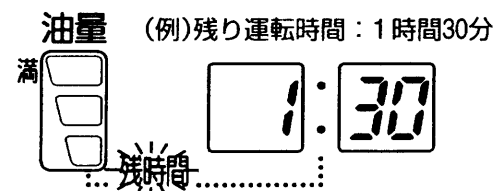
給油のめやす（給油バックアップ運転）

●油がなくなると、残時間ランプが点滅し、約5秒間メロディ音が鳴ってお知らせします。

点滅中はデジタル表示に残りの運転時間を表示します。

室温により変わりますが、約30分～1時間30分運転できます。

油量　(例)残り運転時間：1時間30分

満　残時間　1:30

●消火する30秒前からメロディ音が鳴り、自動消火します。

早い点滅

●残時間ランプが点滅中に電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、給油バックアップ運転はできません。

●油切れのときに「ポコポコ」と電磁ポンプのから打ち音がする場合があります。

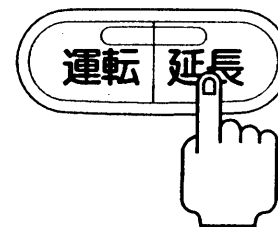
[メロディ音とブザーの切り替え]

給油時や消し忘れをお知らせするメロディ音が耳ざわりの場合は、「ピー」というブザーに切り替えできます。

〈切り替え方〉

停止時に延長ボタンを5秒以上押し続けます。

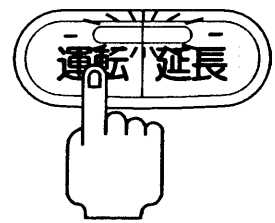
「ピー」とブザーが鳴ったら切り替わります。

●メロディ音に戻すときは、同様に5秒以上延長ボタンを、メロディ音が鳴るまで押し続けます。

使用方法（運転のしかた）

これっきりボタン運転 16

運転ボタン、延長ボタン、切ボタンを押すだけの簡単操作
室温センサーが感知する情報をもとにマイコンで熱量をファジィ制御して運転します

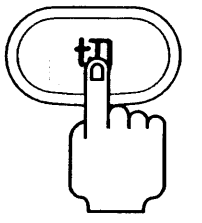
点火

運転ボタンを押す

●運転ランプ点灯
●約95秒後に点火します
（急速点火がセットされていると約15秒で点火します）

点火時の室温が低い(約15℃以下)ときは、しばらく若干高い熱量で運転します（速暖ターボランプが点灯します）
速暖ターボ

おさえめ運転 16・19
室温が設定室温より約3℃上がると消火し、設定室温まで下がると点火して、室温の上がり過ぎを防ぎます

消火

切ボタンを押す

運転ランプが消灯します

切ボタンを押さない場合、3時間運転すると自動消火します

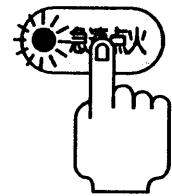
お好み設定

18・20

お好みに応じていろいろな機能をセットしてお使いいただけます

延長ボタン
運転ボタン
切ボタン

急速点火

急速点火ボタンを押す

あらかじめ運転前に押しておくと点火時間が早くなります(約15秒)

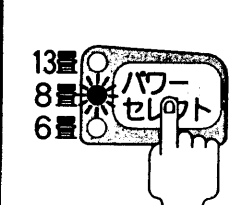
好みの室温にセットする

室温ボタンを押す

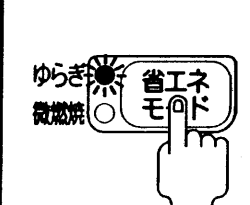
室温/時刻合わせ
時
分

●押すごとに1℃づつ変わります
●10℃〜30℃までセットできます

パワーを切り替える

パワーセレクトボタンを押す

押すとお好みの暖房能力に切り換わります

省エネ運転をするとき

省エネモードボタンを押す

押すごとにゆらぎ運転・微燃焼運転に切り替わります

運転を延長するとき

延長ボタンを押す

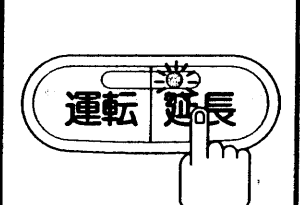
3時間運転を延長します

タイマー運転

22

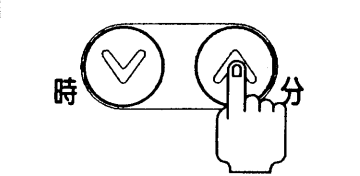
ご希望の時刻に運転を開始し、設定室温になるよう運転します
（あらかじめ現在時刻を設定しておいてください）

タイマーボタンを押す

タイマーボタンを押す

タイマーランプが点滅します

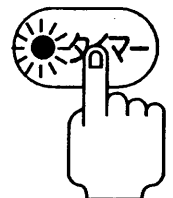
運転を始めたい時刻をセットする

時刻合わせボタンを押す

室温/時刻合わせ

Ⓥ(時)を押すごとに1時間づつ、Ⓐ(分)を押すごとに1分づつ進みます

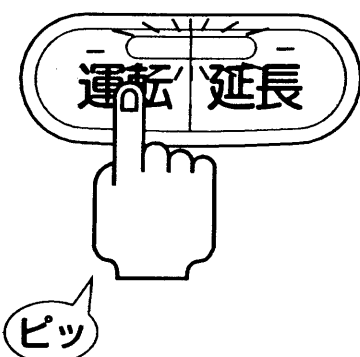
セットした時刻に運転を開始します

お部屋の温度が10℃未満のときはセットした時刻の30分前から運転を始めます

1時間運転すると自動消火します

運転ランプが消灯します

使用方法（これっきりボタン運転）

点　火

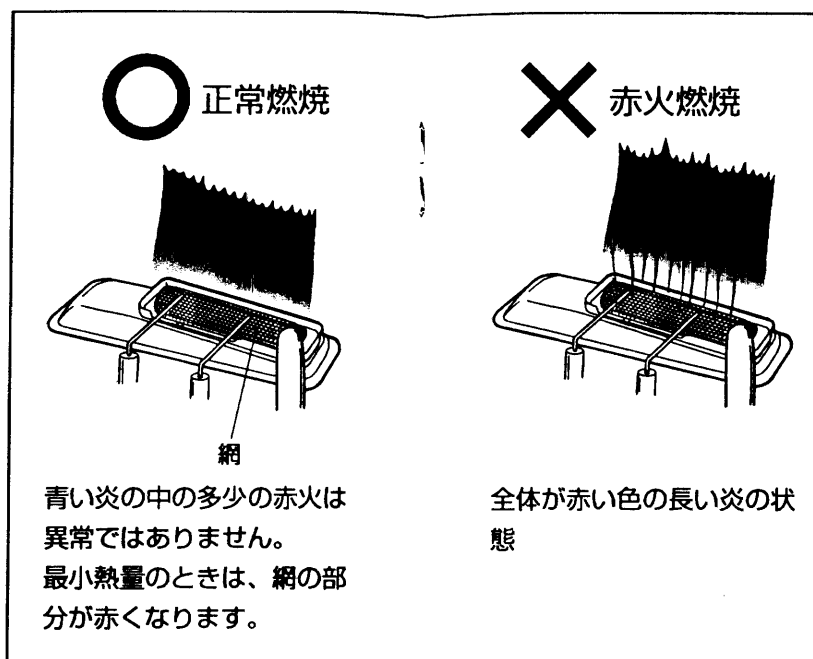
設定室温　現在室温

運転ボタンを押す

設定室温と現在室温の差が3℃以上のときはオレンジに、3℃未満のときはグリーンに運転ランプが点灯します。

- デジタル表示に「設定室温」と「現在室温」を表示します。
- あらかじめ設定室温は20℃にセットされています。
- 約95秒後に自動点火します。
  点火時に約17〜22秒間消臭システムが作動し、消臭ランプが点灯します。
- 点火後の約4分間は「中」燃焼します。
- おさえめ運転がセットされているときは、現在室温が設定室温より高いときいったん運転を始めますが、おさえめ運転により消火します。（19ページ参照）

炎確認窓から炎の状態を確認してください

青い炎の中の多少の赤火は異常ではありません。
最小熱量のときは、網の部分が赤くなります。

全体が赤い色の長い炎の状態

赤火のときは

つぎの処置をしてください。

- 換気する。
- フィルタ（燃焼・温風空気取入口）、温風吹出口のほこりをとる。
- 変質灯油・不純灯油を使用したときはクリーニングをする。
  （26ページ参照）

処置後も赤火燃焼するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

次のような状態は異常ではありません

■点火しない
初めての使用やシーズン最初、特に寒いときは、白煙が出てデジタル表示に［　］［1］が点灯することがあります。
すぐ切ボタンを押し、温風ファンが停止してから再度運転ボタンを押してください。

■炎が赤くなる
超音波式の加湿器を使用すると、炎の色が赤くなります。
水に溶けているカルシウム分が燃えるためです。

消　火

消臭

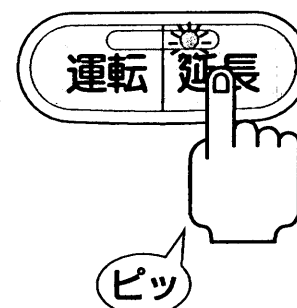
切ボタンを押す

- 運転ランプ、デジタル表示が消灯し、消火します。
  同時に消臭システムが作動して消臭ランプが点灯します。
  消臭ランプは約2分40秒後に消灯します。
  炎確認窓から消火したことを確認してください。
- 温風ファンは、切ボタンを押したあといったん停止し、その後約80秒間送風し、余熱を放出して停止します。

消し忘れ防止のため、点火3時間後自動消火します

消火30秒前からメロディ音が鳴り、運転ランプ（右側のグリーン）が点滅します。
消火すると運転ランプが消灯し、タイマーランプが点滅します。

運転を延長するとき

延長ボタンを押します。運転ランプ（右側のグリーン）が5秒間点滅した後、点灯に変ります。

- 押したときから運転を3時間延長します。

つぎのことは必ずお守りください。

白煙や強いにおいが出たり、過熱防止装置が作動することを防ぐためです。

- 電源プラグを抜いて消火しない。
- 電源プラグは、消火して「カチッ」と音がするまで抜かない。

（電源プラグを抜くと現在時刻・タイマー運転時刻・設定室温のセットなどが解除され、初期セットに戻ります。再セットしてください。）

停電や地震があったとき

安全装置が作動して運転を停止します。

■停電があったとき
現在時刻・タイマー運転時刻・設定室温などの記憶が解除されますので、再セットしてください。

■地震（強い衝撃や傾き）があったとき
デジタル表示に［　］［3］を表示します。

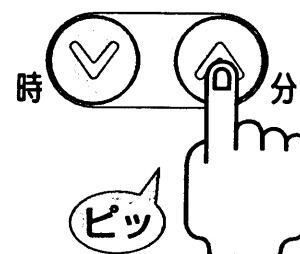
- 切ボタンを押すとデジタル表示は消えます。
- 再運転をするときは、周囲の安全を確認してください。

使用方法（お好み設定）

お好みに応じてセットします。

室温の調節

設定室温　現在室温

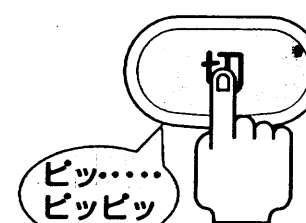
室温/時刻合わせ

室温ボタンを押す

押すごとに１℃づつ変わります。

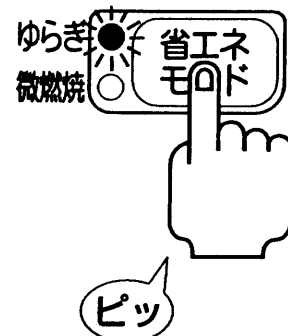
- ●デジタル表示の設定室温を見ながらセットします。
  10℃～30℃までセットできます。
- ●一度セットすれば記憶しています。
- ●現在室温は８℃～34℃を表示します。
- ●現在室温はお部屋の温度の目安です。
  温度計と一致しないことがあります。
  部屋の大きさや設置場所によっては、設定室温まで上昇しません。

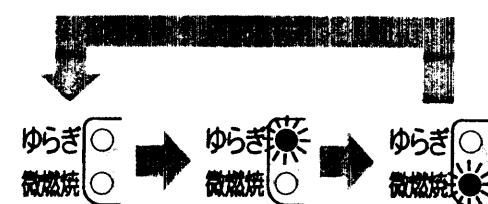
[おさえめ運転]

- ●室温が設定室温より約３℃上がると消火し、設定室温まで下がると点火して、室温の上がり過ぎを防ぎます。
- ●春先や秋口など、外気温が高いときや、小さな部屋で使用すると、室温が設定室温より上昇し、点火と消火をくり返します。このとき少しにおいます。

[セットのしかた]

停止中に切ボタンを５秒以上押し続けます。
ブザーが２回鳴ったらセットされました。

- ●電源プラグを抜くと解除されます。

省エネモード運転

〈セットのしかた〉

運転中に省エネモードボタンを押してセットします。押すと次のように切り替わります。

〈通常運転〉　〈ゆらぎ運転〉　〈微燃焼運転〉

初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、自動的に通常運転のモードになります。

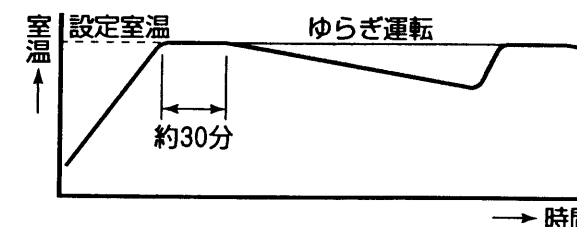
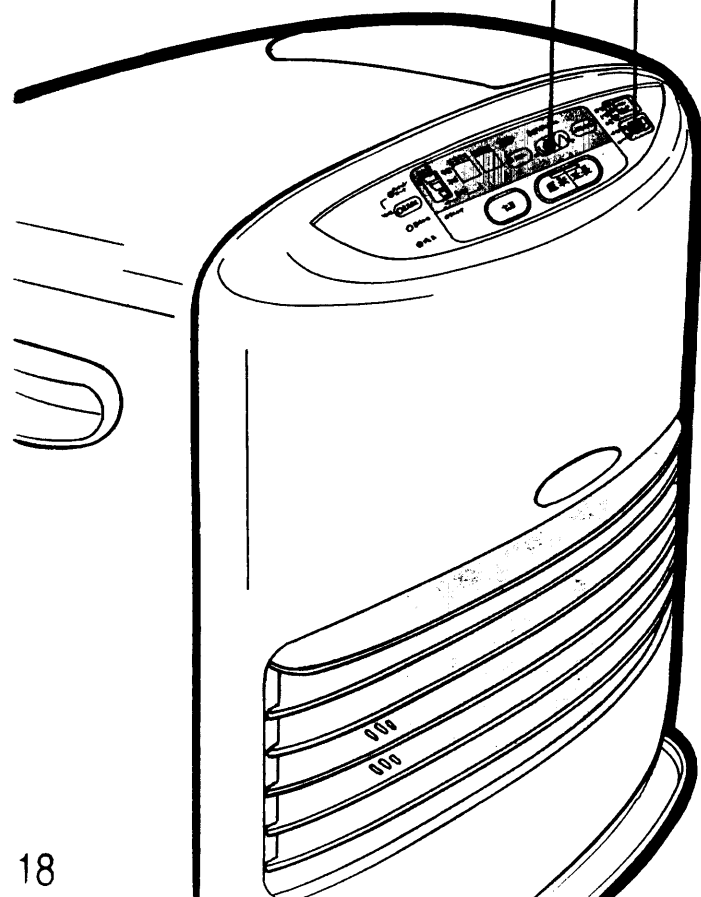
- ●運転停止時はセットできません。

[微燃焼運転]

設定室温、現在室温に関係なく、「微燃焼」で運転します。

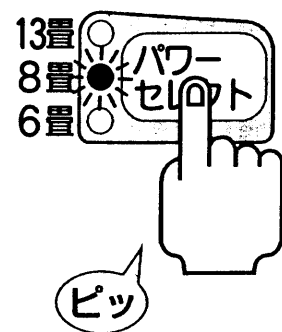
[ゆらぎ運転]

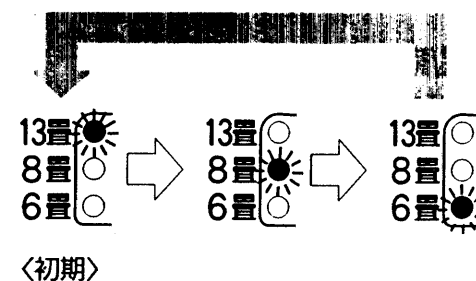
お部屋の温度が設定室温まで暖まったあと、体感温度を変えることなく自動的に温度を下げて、ムダな暖めすぎをおさえる運転です。

- ●お部屋の温度が設定室温になって約30分後にゆらぎ運転が始まり、約２時間経過すると元の温度に戻る制御をくり返します。

- ●ゆらぎ運転中は、室温が設定室温より低め（最大２℃）に表示することがあります。
- ●ゆらぎ運転中は、自動的におさえめ運転がセットされます。現在室温が設定室温より高いときは消火します。
- ●給油バックアップ運転中は、ゆらぎランプが点灯してもゆらぎ運転になりません。
- ●使用条件により省エネ効果は変わります。

使用方法（お好み設定）

お好みに応じてセットします。

パワーセレクト運転

パワーセレクトボタンでご使用になるお部屋の広さに合った畳数をセットしますと、その畳数に合った暖房能力に切り替わり運転します。

〈セットのしかた〉

運転中にパワーセレクトボタンを押してセットします。押すごとに次のように切り替わります。

- 運転停止時はセットできません。
- 畳数はご使用になるお部屋に適した暖房の目安です。
- 初めて使用するときや、電源プラグをコンセントから抜いたときは、自動的に初期のパワーになります。

急速点火

点火時間を早めたいとき使用します。

急速点火は、お出かけ前などにあらかじめ（運転ボタンを押す２分以上前に）セットしておくと、運転ボタンを押してすぐに点火します。

〈セットのしかた〉

あらかじめ停止時に急速点火ボタンを押します。

- 急速点火ランプが点灯し、予熱をします。
- セット後、運転ボタンを押すと約15秒で点火します。（通常運転は約95秒）
- 一度運転すると急速点火は自動的に解除され、急速点火ランプも消灯します。
- セット後運転しないで48時間経過すると自動的に解除されます。

- 現在室温が設定室温より高いときは、急速点火ランプは点灯しても、予熱はしません。
- 急速点火セット中にタイマーボタンを押すと、自動的に解除されます。
- 予熱中は約40Wの電力を消費します。
- 運転中、タイマー運転中に急速点火をセットした場合は、予熱はしません。
  運転停止後、約２分40秒後から予熱を始めます。
- 使用時間帯を学習し、あまり使わない時間帯には、ムダな電力消費をおさえながら予熱します。

チャイルドロック

お子様のいたずら操作を防止します。

〈セット（解除）のしかた〉

急速点火ボタンを３秒以上押す。

- ロックされ（解除され）、チャイルドロックランプが点灯（消灯）します。
- 停止時ロックすると…
  すべての操作ができなくなります。
- 運転中にロックすると…
  切ボタン（消火）、延長ボタン（運転の延長）のみ操作できます。

- 次の場合はチャイルドロックは解除しません。
  - 対震自動消火装置が作動したとき。
  - ロック中に消火操作したとき。
  - タイマー運転時に自動消火したとき。
  - 消し忘れ消火装置が作動したとき。
  - 油切れで自動消火したとき。
  - 不完全燃焼防止装置が作動したとき。

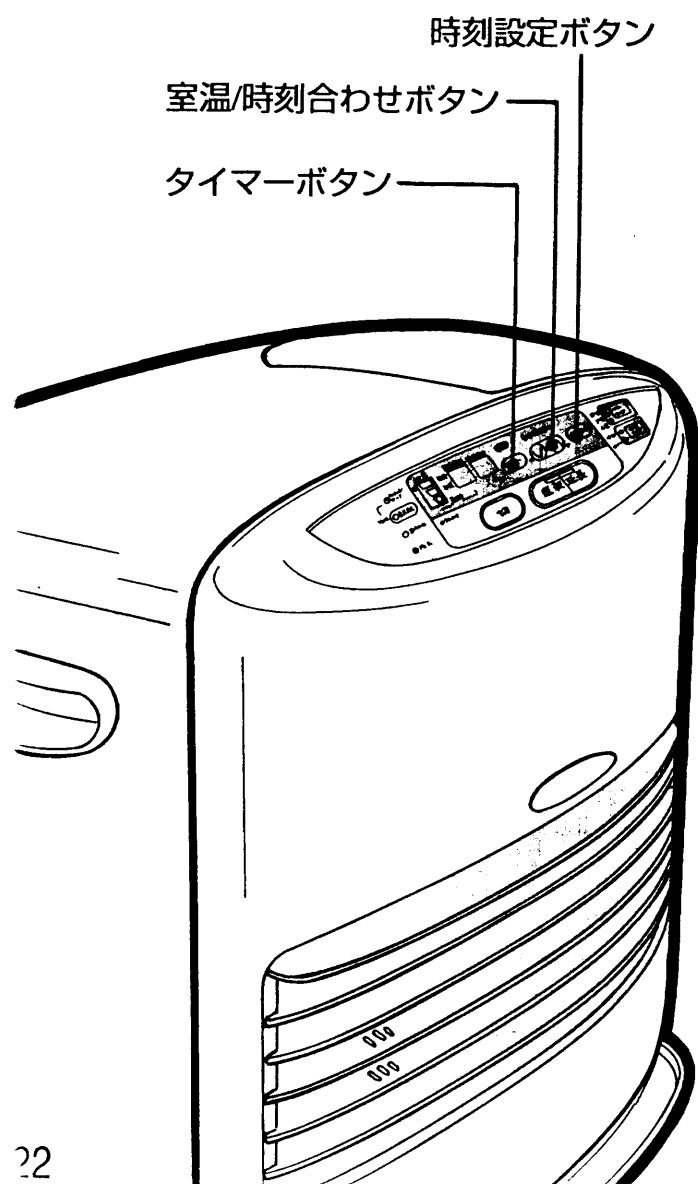
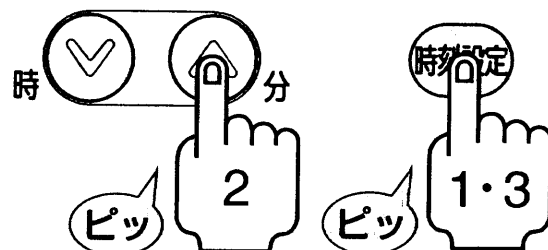
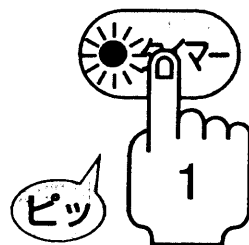
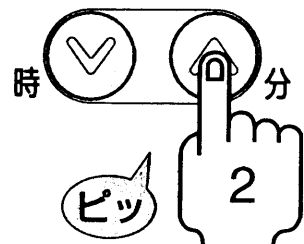
再運転する場合は、チャイルドロックを解除してください。
ただし、対震自動消火装置または不完全燃焼防止装置が作動したときは、一度「切」ボタンを押してからチャイルドロックを解除してください。

使用方法（タイマー運転）

●タイマーは点火専用です。

セットした時刻になると運転を開始し、設定室温になるようお部屋を暖めます。お部屋の温度が約10℃未満のときは、セットした時刻の30分前から運転を始めます。

●点火後、1時間運転すると、自動的に消火します。

タイマーランプが点滅し、運転ランプが消灯します。

現在時刻の合わせ方

(例)午後5時30分に合わせる場合

1 時刻設定ボタンを押す

デジタル表示が点滅に変わります。

2 時刻合わせボタンを押し、時刻を合わせる

●⊗(時)を押すと1時間づつ進みます。
　⊗(分)を押すと1分づつ進みます。
●押し続けると連続して進みます。

3 時刻設定ボタンをもう一度押す

デジタル表示が点灯に変わり、現在時刻がセットされます。

●電源プラグを抜いたときや停電時には、現在時刻、タイマー運転時刻の記憶が解除されます。
そのときは再セットしてください。

タイマー運転

午前 6:30

(例)午前6時30分に運転を始める場合

1 タイマーボタンを押す

●タイマーランプが点滅し、デジタル表示に運転を始めたい時刻を表示します。
●初めてお使いになるときは、午前6時00分を表示します。

2 時刻合わせボタンを押し、運転を始めたい時刻を合わせる

●表示が点滅中に時刻を合わせてください。
●⊗(時)を押すと1時間づつ進みます。
　⊗(分)を押すと1分づつ進みます。
●押し続けると連続して進みます。
●時刻を合わせたあと、タイマーランプと時刻表示が点滅から自動的に点灯に変わると、タイマー運転がセットされます。
●時刻を合わせるまえに、表示が点滅から点灯に変わったときは1からやり直してください。

自動点火する

セットした時刻になると運転を始めます。
お部屋の温度が約10℃未満のときは、セットした時刻の30分前から運転を始めます。
運転を開始すると、運転ランプが点灯し、デジタル表示は室温表示になります。
点火後、1時間経過すると、自動的に消火します。

●セットした時刻は記憶されています。同じ時刻で運転するときは、タイマーボタンを押すだけで運転できます。
●すぐに運転したいときは運転ボタンを、停止させたいときは切ボタンを押してください。
●セットした時刻を変更したいときは、再セットしてください。
●運転中にタイマーボタンを押すと一度消火し、デジタル表示された時刻のタイマー運転になります。
●タイマー運転中に、運転ボタンか延長ボタンを押すと、これっきりボタン運転になります。
タイマーランプは消灯します。
●タイマーボタンを押したときデジタル表示に 88 88 が表示された場合は、現在時刻がセットされていません。
現在時刻をセットしてからタイマー運転をセットしてください。

点検・手入れ

必ず消火し、本体が十分冷えてから、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

日常の点検・手入れ

- ●石油ファンヒーターおよびその周辺は、いつもきれいに掃除しておいてください。よごれたままで使用すると、正常に機能しません。
- ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。
- ●故障、破損したものは使用しないでください。
- ●バーナ部、電気部品、対震自動消火装置などは絶対に分解しないでください。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

使用ごと

周囲の掃除

周囲に燃えやすいものがあったら取り除いてください。

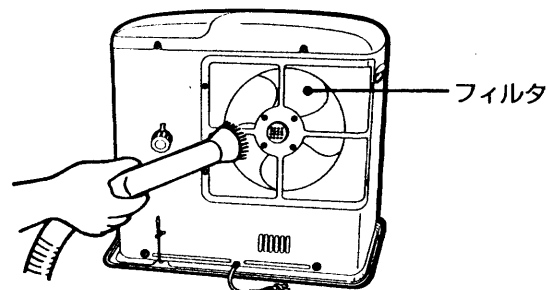
油漏れの点検

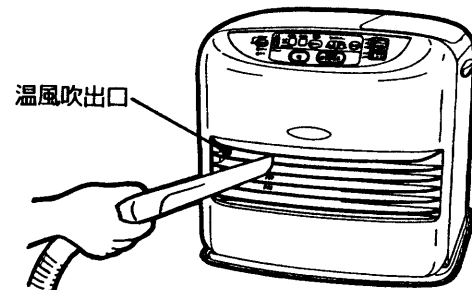
油だまり、油にじみがないかを確かめてください。油漏れがある場合は、使用をやめお買い上げの販売店にご相談ください。

週に1回以上

フィルタ(燃焼・温風空気取入口)

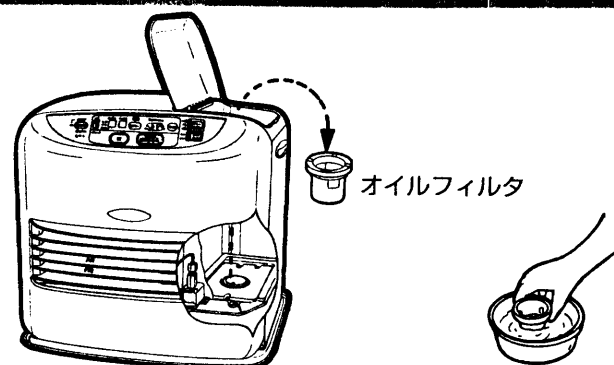
掃除機でほこりをよく吸い取ってください。
汚れたままでの使用は危険です。

- ●フィルタ(燃焼・温風空気取入口)が目づまりしているときは歯ブラシで掃除してください。

温風吹出口の掃除

温風吹出口に付着したほこりなどが焼け、著しく茶色に汚れることがあります。
中性洗剤を塗布してから2～3分後に歯ブラシでこすってから、よくふきとってください。

月に1回以上

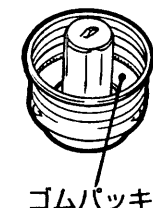
オイルフィルタの掃除

オイルフィルタにごみが付着していないか点検し、付着しているときは取り出して良質の灯油で洗ってください。
汚れたままだと油がとおりにくくなります。

シーズンに1回以上

対震自動消火装置のテスト

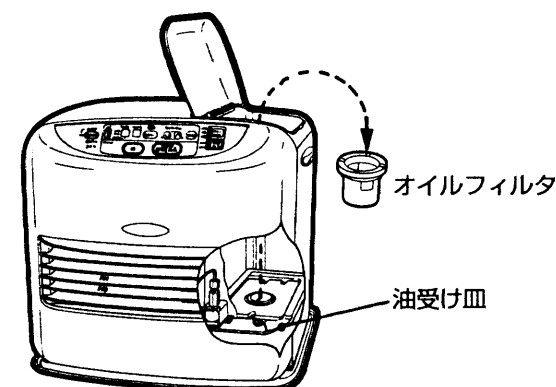
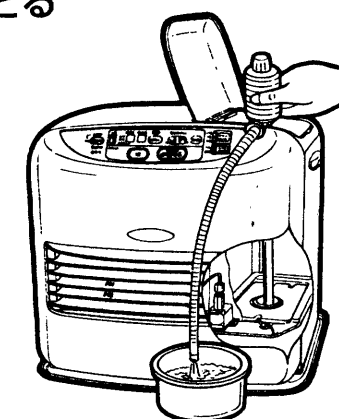
運転中、本体を水平にゆすって、確実に消火するか確かめてください。
作動するとデジタル表示に □ 3 を表示します。

給油タンクの点検

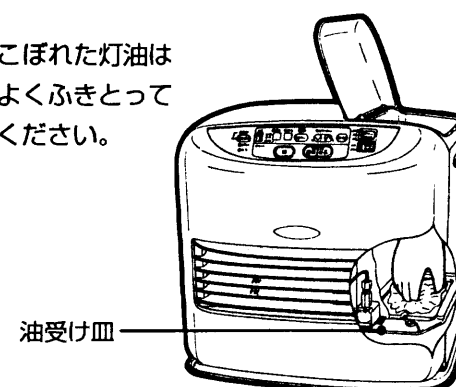
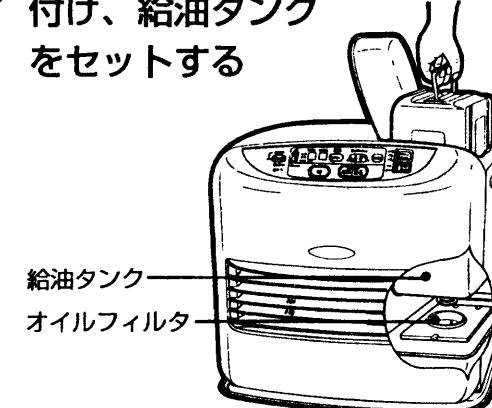
給油口口金のゴムパッキン部にゴミなどが付着していないか確かめてください。
ゴミが付着しているときは、布などで取り除いてください。

油受け皿の油抜き・水抜き

油受け皿に水がたまると、給油タンクに灯油が入っていても点火しません。
つぎの要領で油受け皿の水抜きをしてください。

- ●変質灯油、不純灯油を誤って使用したときは、油受け皿の油抜き・水抜きをした後、良質の灯油で洗ってください。

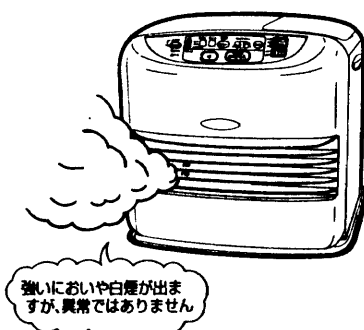
1 給油タンクを取り出し、油受け皿からオイルフィルタをはずす

2 市販の給油ポンプで灯油(水)を抜きとる

3 抜けきらなかった灯油(水)は、布などでふきとる

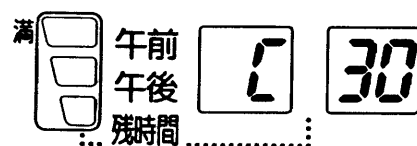
●こぼれた灯油はよくふきとってください。

油受け皿

4 もとどおりオイルフィルタを取り付け、給油タンクをセットする

点検・手入れ

クリーニング

次の場合は、気化器のクリーニングをおこなってください。
●換気が十分でフィルタに目詰まりがなく、カーテンなどでふさがれてないのに、換気ランプが点滅または点灯しているとき。
●デジタル表示に [ ] [ ] が表示されたときや、においが強いとき。
●点火しにくいときや、炎が小さいとき。

クリーニング中は運転しませんが、必ず屋外でおこなってください。
延長コードを準備すると便利です。

1 良質の灯油に交換する

①油受け皿の灯油を抜きます。(25ページ参照)
②給油タンクを良質の灯油ですすぎ、良質の灯油を給油してファンヒーターにセットします。

2 クリーニングをする

①電源プラグをコンセントに差し込みます。
②クリーニングスイッチを細い棒で押します。
●クリーニング時間は約30分です。
開始とともにデジタル表示に [C] [30] を表示します。
●クリーニングが完了するとブザーが鳴ります。

3 クリーニング後すぐに運転ボタンを押して30分ほど運転する

●すぐに運転しないと故障の原因や、クリーニングの効果が十分得られない場合があります。

今までお使いの灯油の変質がひどい場合は、クリーニング直後の運転で点火しなかったり、点火してもすぐに消火することがあります。
この場合は、10分ほど待ってから、もう一度点火してください。
それでも具合が悪いときは再度クリーニングをおこなってください。
それでも正常に戻らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検

長期間ご使用になりますと使用条件などにより機能を十分発揮できなくなることがあります。未然にトラブルを防ぐため機器の点検が必要です。２シーズンに１回程度、シーズン終了後などにお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL.03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)〕などのいる販売店などに点検依頼されることをおすすめします。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

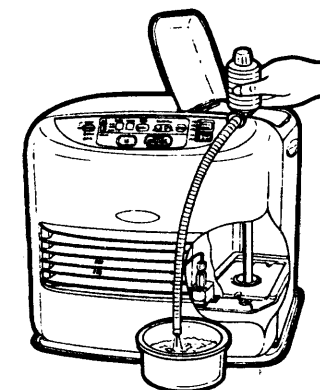
部品交換のしかた

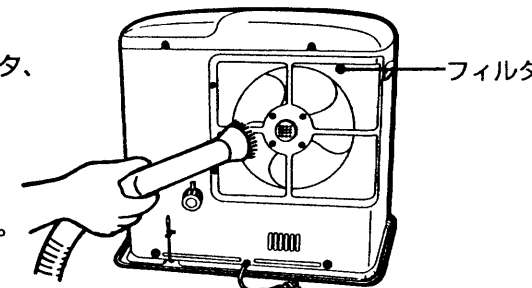
電流ヒューズ・温度ヒューズの溶断や、長期間の使用による部品の劣化などで部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店・または最寄りの「日立家電品ご相談窓口」にお問い合わせいただき、(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいる販売店などに依頼されることをおすすめします。
《長期間の使用により劣化しやすい部品》
気化器、バーナ、フレームロッド、電磁ポンプ、オイルフィルタなど
《変質灯油、不純灯油の使用により劣化しやすい部品》
気化器、バーナ、電磁ポンプ、オイルフィルタなど
●交換部品は、必ず日立石油ファンヒーター用の純正部品をご使用ください。
●部品交換についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

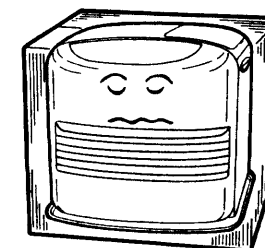
保管(長期間使用しない場合)

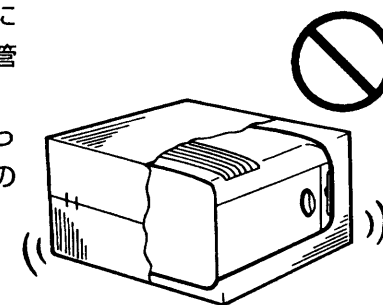
電源プラグをコンセントから抜き、次の要領でお手入れしてから保管してください。

1 油を抜きとる

●給油タンクは空にして、ごみや水が残らないように内部をきれいな灯油で洗ってから乾燥してください。
●「油受け皿の油抜き・水抜き」(25ページ)を参照して、灯油(水)を抜きとってください。
灯油を抜かないと、保管時にこぼれたり、にじみ出たりして危険です。

2 掃除する

●本体やフィルタ(燃焼・温風空気取入口)、オイルフィルタ、温風吹出口などの掃除をしてください。
●本体内部の清掃も必要です。
お買い上げの販売店に依頼してください。(有料です)
●具合の悪いところは、保管前に修理しておいてください。
(31ページ参照)

3 保管する

●本体をダンボール箱などにいれ、湿気のない場所に保管してください。

お願い

本体を逆さにしたり、横にしたり、傾けたりして保管しないでください。
●保管中に抜けきれなかった灯油が漏れて、火災の原因になります。

故障・異常の見分け方と処置方法

故障・異常が生じたとき安全装置が作動して自動消火し、デジタル表示とランプ表示でお知らせします。切ボタンを押し(表示は消えます)、処置をしてください。原因がわからないときや、処置をして点火操作をしても運転しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
(お買い上げの販売店に修理を依頼するときは、表示値をお知らせください。)

表示〔安全装置〕	原因	処置
□ 1 を表示または換気ランプが点滅・点灯〔不完全燃焼防止装置および燃焼制御装置の作動〕	●換気不足のとき	●換気をする
	●フィルタ(燃焼・温風空気取入口)にほこりがたまったり、カーテンなどでふさがれたとき	●ほこりを掃除する ●カーテンなどの障害物を取り除く
	●不良灯油(変質灯油)や水が混入した灯油を使用したとき	●クリーニングをする
	●油切れにより途中消火したとき	●給油する
□ 3 を表示〔対震自動消火装置の作動〕	●地震(震度5以上)のとき ●強い振動や衝撃を与えたとき ●本体を傾けたときなど	●本体と周囲に異常がないことを確かめる ●振動しない水平な場所で使用する
□ 1 を表示または換気ランプが点灯〔過熱防止装置の作動〕	●フィルタ(燃焼・温風空気取入口)にほこりがたまったり、カーテンなどでふさがれたとき	●本体を冷やし、カーテンなど障害物やほこりを取り除く
	●壁に近づけすぎているとき	●壁から離し、本体が冷えるまで待つ
	●温風吹出口がふさがれたとき	●障害物を取り除き、本体が冷えるまで待つ
	●送風機が故障したとき	●修理を依頼する
	●過大燃焼したとき	
□ 1 を表示〔点火安全装置の作動〕	●点火ミスや炎が小さくなったとき	●もう一度点火操作をする ●クリーニングをする
	●電磁ポンプが故障したとき	●修理を依頼する
すべてのランプが消灯〔停電安全装置の作動〕	●停電したとき ●電源プラグが抜けたときなど	●再通電後、本体が冷えるまで約10分間待って、運転ボタンを押す。タイマーなどセットしなおす
タイマーランプが点滅〔消し忘れ消火装置の作動〕	●点火後、または延長ボタンを押したときから約3時間経過したとき	●運転ボタンを押す
残時間ランプが点滅	●給油タンクの油がなくなったとき	●給油をする
	●オイルフィルタを付け忘れたとき	●オイルフィルタを油受け皿に取り付ける
E 01 ……… E 11 を表示	●炎検出部などが故障したとき ●気化器部などの温度異常を検知したとき ●その他機器が故障したとき	●修理を依頼する

具合の悪いときは、次の表も参考にして点検・処置してください。
それでもおわかりにならないことがありましたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

原因＼現象	運転ランプが点灯しない	点火しない	使用中に消火する	炎が大きくならない	赤火になる・ススが出る	炎が飛ぶ	白煙が多量に出る	運転中におう	油漏れがある	処置方法
灯油に水が混入している	●	●	●							給油タンク、油受け皿の水抜きをする
不良灯油を使用した		●	●	●	●	●	●	●	●	良質の灯油に交換してクリーニングする
電源プラグをコンセントに差し込んでいない	●	●								コンセントに差し込む
換気が不十分(換気ランプが点滅)			●		●	●		●		換気を十分にする
給油タンクの給油口口金がゆるんでいる								●	●	給油口口金をしっかりと締める
送油経路の漏れ、接続部のゆるみ		●	●	●		●	●	●	●	販売店に修理を依頼する
フィルタ(燃焼・温風空気取入口)の目詰まり		●	●		●			●		フィルタを掃除する
フィルタ(燃焼・温風空気取入口)がカーテンでふさがれている		●	●		●			●		カーテンから離す
温風吹出口がふさがれた		●	●		●			●		温風吹出口のしゃ閉物を取り除く

故障かな？と思ったら

次のような現象のときは異常ではありません。下表を参考にしてもう一度確認してください。

	現象	原因	処置方法
点火時・消火時	点火しない	チャイルドロック中です	解除してください(20ページ参照)
	初めて使用するとき白煙やにおいがする	耐熱塗料やほこりなどが焼けるためです	異常ではありません。そのまま使用してください
	「カチッ」と音がする	電磁弁(ソレノイド)の作動音です	
	におう	灯油の気化ガスが出るため、多少においます	
	点火時白煙が出る	点火時にバーナから出る灯油の気化ガスです	
	きしみ音がする	点火時、消火時、熱量の切り替わり時に、金属が加熱・冷却しておこる膨張・収縮音です	
	点火時「ゴトゴト」音がする	電磁ポンプ内に空気が混入しているためです(点火ミスのときはもう一度点火する)	
運転時	運転中に「シュー」と音がする	気化した灯油がバーナ内に噴出する音です	
	運転中に「コトコト」音がする	電磁ポンプが灯油を吸い上げる音です	

仕様

形式の呼び		OVF-SE50D
種類		気化式、強制対流形
点火方式		高圧放電点火・自動点火
使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）
燃料消費量	最大	0.522L/h
	最小	0.085L/h
暖房出力	最大	5.00kW(4,300kcal/h)
	最小	0.81kW(　700kcal/h)
発熱量（入力）	最大	18,000kJ/h(4,300kcal/h)
	最小	2,930kJ/h(　700kcal/h)
騒音※（正面）	最大	40dB
	最小	23dB
油タンク容量		7.2L
燃焼継続時間		約13.8時間(「強」燃焼時)
暖房のめやす		木造：13畳（21.5m²）
		コンクリート：18畳（30.0m²）
外形寸法		(高さ)433mm×(幅)484mm×(奥行)329mm（置台を含む）
質量（重量）		11.3kg
電源電圧及び周波数		単相100V　50/60Hz
定格消費電力（50/60Hz）	最大	420/420W(点火時)
	燃焼時	67/61W
電流ヒューズ		7A(アンペア)
温度ヒューズ		172℃
安全装置		不完全燃焼防止装置、燃焼制御装置、対震自動消火装置、過熱防止装置、点火安全装置、停電安全装置、消し忘れ消火装置
附属品		キャップオープナー

※騒音(正面)の数値はJIS測定法(JIS S 3031)に基づく正面値です。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年です。

修理を依頼されるときは 出張修理

修理を依頼される前に「故障・異常の見分け方と処置方法」(28ページ) および「故障かな？と思ったら」（29ページ）を調べていただき、なお異常のあるときは、故障や事故防止のため、ご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

品名	日立石油ファン ヒーター
形式の呼び	OVF-SE50D
お買上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせて
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

※形式の呼びは、本体側面の銘板に表示されています。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間がすぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

転居されるときは

ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスが受けられない場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

補修用性能部品の最低保有期間

石油ファンヒーターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後最低6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金のしくみ

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料です。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費・技術教育費・測定機器等設備費・一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途駐車料金をいただく場合もあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

お願い

●**輸送するときは**
ご転居または修理などでストーブを輸送するときは、必ず給油タンク・油受け皿内の灯油を抜き取ってください。(25ページ参照)
灯油が入ったままですと、輸送中に灯油が漏れて、他の輸送物を汚すおそれがあります。

●**破棄するときは**
ストーブを破棄処分するときは、必ず給油タンク、油受け皿内の灯油を抜き取ってください。(25ページ参照)
灯油が入ったまま破棄すると危険です。